

英語 基本動詞の 徹底活用 法

リチャード・キム 著

下

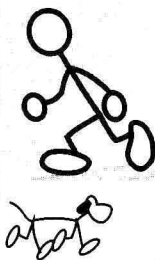
GET, PUT,
KEEP,
GIVE, DO 編

これだけの動詞で表現力が
グーンとアップ!

巻 (GO, COME, MAKE, TAKE, HAVE 編) 同時発売!

英語 基本動詞の 徹底活用 法 下

リチャード・キム 著



*GET, PUT,
KEEP,
GIVE, DO* 編



[著者略歴]

リチャード・キム

1960年生まれ。

翻訳・編集に「連鎖式英単語事典」、「赤単」、「青単」、「黒単」、
(ホリム・ハン著、いずれも小社刊)等がある。

英語

基本動詞の徹底活用法 ⑤

2001年5月20日 第1刷発行

著 者——リチャード・キム

発行者——前田完治

発行所——株式会社三修社

〒110-0004 東京都台東区下谷1-5-34

Tel. 03-3842-1711

Fax. 03-3845-3965

振替 00190-9-72758

<http://www.sanshusha.co.jp/>

編集担当 北村英治

印刷所——萩原印刷株式会社

© R.Kim 2001

Printed in Japan

ISBN 4-384-02635-8 C2082

R 〈日本複写権センター委託出版物〉

本書の全部または一部を無断で複写(コピー)
することは、著作権法上での例外を除き、禁じ
られています。本書からの複写を希望される
場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)
にご連絡下さい。

カバーデザイン：長沼辰雄

は じ め に

人間は意識し、考え、創造する動物であるだけに、その手段である言葉や文字で表現する場合「動詞」はどの国の言語であっても、キーであることはいまさら言うまでもありません。とりわけ、英語において、日本語や中国語よりも「動詞」はさらに要^{かなめ}の役割をしているといえます。英語ではテンス（時制）を重視するところにも、動詞の重要性の一端がよく表れていると思います。

本書は、英語表現で最もよく使われる重要動詞を厳選し、その意味を包括的に説明し、よく使われる用例と用法を列挙して、リピートすることによって、英語に親しんでもらおうとして試みたものです。

本書を実際に手に取ってもらえばわかりますが、日常的に使う会話表現も列挙しているので、全体としての英語の世界をわずかの主要な動詞でつかめるように工夫しています。

英語についてはしばしば、やればやるほど、慣れれば慣れるほどその奥の深さにまいてしまい、「日暮れて道遠し」の感を抱くと言われていますが、しかし、けっしてそうだと一概には言えません。そのような奥の闇に入るのは英語という世界を、あたかも大きな山を崩すかのように、地道に一つ一つ刻んでいこうとする真面目な姿勢のゆえの迷路ではないでしょうか。まさに、日本的な丁重で、ひた向きのやり方の落とし穴だと言えましょう。

確かに、そうした方法もけっして間違いではないでしょうが、

骨の折れる一部の精力的な努力家だけがなしえる業^{わざ}だと思われます。

英語を全体的に把握するやりかたは、すぐれています。これだと、やればやるほど先が見えてきます。希望と自信をもたせてくれるのです。この本はそうした試みとして編んでみました。

なお、各章末の《復習のために》の解答は本文にあるのであえて付けていません。不安な方は前に戻って確認してください。

皆さんのご奮闘と着実な努力を念じながら、まえがきにかえさせていただきます。

2001年4月 著者

もくじ

第1章 get で OK! の英語術7

get の使い方・1	「持って来る」.....11
get の使い方・2	「取って来る」など, 入手, 取得12
get の使い方・3	「着く」など, 到着, 移動15
get の使い方・4	「なる」「ならせる」.....18
get の使い方・5	「理解する」「納得する」.....21
get の使い方・6	「攻撃する」「処罰する」.....24
get の使い方・7	「起きる」など, 副詞との連結27
get の使い方・8	「感じ取る」など, 名詞との連結30
get の使い方・9	「持ってくる」, その他の成句33
get の使い方	《復習のために》36

第2章 put で OK! の英語術.....41

put の使い方・1	さまざまな「置く」.....45
put の使い方・2	「～に置く」(位置)46
put の使い方・3	「～に置く」(状態)49
put の使い方・4	「言う」「考える」.....52
put の使い方・5	「入れる」「整える」など55
put の使い方・6	「書き留める」「言い換える」.....58
put の使い方・7	「延期する」など, 副詞との連結61
put の使い方・8	「メガネをかける」など, 名詞との連結64
put の使い方・9	「忘れる」, その他の成句67
put の使い方	《復習のために》70

第3章 keep で OK! の英語術.....75

keep の使い方・1	「保つ」.....79
keep の使い方・2	「～に置く」(位置)80
keep の使い方・3	「～に置く」(状態)83
keep の使い方・4	「経営する」「～し続ける」など86
keep の使い方・5	「飼う」「保管する」など89
keep の使い方・6	「下がれ」「入るな」など92

keep の使い方・7	「抑える」「こらえる」など、副詞との連結・95
keep の使い方・8	「規則を守る」など、名詞との連結・98
keep の使い方・9	「～し続ける」、その他の成句・101
keep の使い方	《復習のために》・105

第4章 give で OK! の英語術109

give の使い方・1	いろいろな「与える」・113
give の使い方・2	「与える」(お金や物)・114
give の使い方・3	「与える」(印象など)・117
give の使い方・4	「与える」(時間など)・120
give の使い方・5	「与える」(許可など)・123
give の使い方・6	「開催する」「実行する」・126
give の使い方・7	「(臭いなどが)する」など、副詞との連結・129
give の使い方・8	「優先する」など、名詞との連結・132
give の使い方・9	「疑わしきは罰せず」、その他の成句・135
give の使い方	《復習のために》・138

第5章 do で OK! の英語術143

do の使い方・1	「する」・147
do の使い方・2	「する」その2・148
do の使い方・3	「済ませる」「終わらせる」・151
do の使い方・4	「まねをする」「作業をする」・154
do の使い方・5	「影響を与える」「危害を及ぼす」・157
do の使い方・6	「行く」「速度を出す」・160
do の使い方・7	「間に合う」・163
do の使い方・8	「関係がある」・166
do の使い方・9	強調、その他・169
do の使い方	《復習のために》・172

第1章 go でOK! の英語術7

go の使い方・1	「行く」「来る」.....11
go の使い方・2	「出かける」.....12
go の使い方・3	「帰る」.....15
go の使い方・4	「進行する」.....18
go の使い方・5	「機能する」.....21
go の使い方・6	「～まで行く」「到達する」.....24
go の使い方・7	「消える」「売れる」.....27
go の使い方・8	「やってみる」「残っている」.....30
go の使い方・9	「どうぞ」など、その他の成句.....33
go の使い方	《復習のために》.....36

第2章 come でOK! の英語術.....41

come の使い方・1	「来る」と「行く」.....45
come の使い方・2	「到着する」「来る」(来訪).....46
come の使い方・3	「到来する」.....49
come の使い方・4	「到達する」.....52
come の使い方・5	「起きる」「思い浮かぶ」.....55
come の使い方・6	「話しが及ぶ」「偶然出会う」.....58
come の使い方・7	「～に来る」(順番).....61
come の使い方・8	「～になる」(状況、状態).....64
come の使い方・9	「(潮が)満ちる」など、その他の成句.....67
come の使い方	《復習のために》.....70

第3章 make でOK! の英語術.....75

make の使い方・1	「～にする」.....79
make の使い方・2	「作る」.....80
make の使い方・3	「～になる」「～にする」.....83
make の使い方・4	「～になる」(計算など).....86
make の使い方・5	「～になる」(進行).....89
make の使い方・6	「～になる」(変更).....92

make の使い方・7	「埋め合わせる」など、副詞との連結	95
make の使い方・8	「進歩する」など、名詞との連結	98
make の使い方・9	「生み出す」など、その他の成句	101
make の使い方	《復習のために》	104

第4章 take でOK! の英語術109

take の使い方・1	「～を飲む」	113
take の使い方・2	「取る」「選択する」	114
take の使い方・3	「解釈する」「理解する」	117
take の使い方・4	「乗る」「持って行く」「連れて行く」	120
take の使い方・5	さまざまな「取る」	123
take の使い方・6	「受け取る」「引き受ける」	126
take の使い方・7	「分解する」など、副詞との連結	129
take の使い方・8	「休憩する」など、名詞との連結	132
take の使い方・9	「例にとる」など、その他の成句	135
take の使い方	《復習のために》	138

第5章 have でOK! の英語術143

have の使い方・1	「持っている」	147
have の使い方・2	気持ちや状況を表す「持つ」	148
have の使い方・3	使役や被害を表す「持つ」	151
have の使い方・4	飲む、食べるを表す「持つ」	154
have の使い方・5	さまざまな所有、帰属を表す「持っている」	160
have の使い方・6	さまざまな状態を表す「持つ」	163
have の使い方・7	「着用している」など、副詞との連結	169
have の使い方・8	「出産する」など、名詞との連結	166
have の使い方・9	「置く」、その他	169
have の使い方	《復習のために》	172

第1章 getでOK! の英語術

これって正しい？

Get Yamada on the phone!



これが正しい！

Get Yamada on the phone!

(山田を電話で呼び出せ！)



補足すると

on は「～の上に」という位置関係だけでなく、時間や状況の説明にも使われている。

on the (tele)phone は、「電話に出ている」。ラジオのトークショーなどで相手の電話がつながって、さあ話して下さいという時には、

You're on the air. (オンエアです。どうぞ)

と言われるから、手短かに、しかし少し具体的に意見を述べてみよう。

▶ get の考え方 ◀

get は、

Where did you get it? (どこで買ったの?)

など、取得を意味する重要単語。所有の **have** は状態だが、取得の **get** は変化を表すと言える。そこから理解を意味する用法や、使役を意味する用法が派生する。

I don't get you. (何言ってるの?)

とあけすけに言ってもいいし、「それは分かった」と言いたければ、

I get it. (分かった)

と言えば十分だ。understand (理解する) では大げさな時に使える。単に、

Get it! (了解!)

で済ませる人もいるようだが、あくまで略式だから、連発は禁物だ。

使役の **get** の特徴は、**get** + 人 + **to** 不定詞になること。

I will get him to do the job. (彼にその仕事をやらせよう)

get には「連れて来る」や「持って来る」もある。



命令や依頼の文を使う時のポイントは、人間関係をはっきりさせることである。

つまり、

Get me a drink.

とか、

Get a taxi for me.

というように「私に～してくれ」と、はっきり付け加えたほうがよい。もちろん、**Get a taxi.**とか、**Taxi!**とか叫ぶだけで用は足りるにしても、ぞんざいな感じがするのは否めない。

この**get**は状況に応じてかなり幅広く使える。「あなたに～してあげる」状況で、

I'll get you the door. (私がドアを開けましょう)

とか、

I'll get you the taxi. (私がタクシーを呼んであげましょう)

とさりげなく便宜をはかってあげられれば、感謝されること請け合いである。またこの**get**は、変化の説明にも使える。**get wet** (ぬれる), **get angry** (怒る) など。

Get it? (= Do you get it?) (分かった?)

と聞かれたら、分かってもいないのに **Oh, yes.** などと言わないように気を付けよう。



「持って来る」

▶ 適当な語を補って、英訳を完成させよう。

会話

A : 朝食は何になさいますか？

❖ **What do you want [] breakfast?**

B : 飲み物だけで。

❖ **Get [] a []. That'll be enough.**

例文 1

① タクシーを呼んで下さい。

❖ **Get a taxi [] me, please.**

② 君を迎えに行きます。

❖ **I'll [] and [] you.**

解 答

会話

A : **What do you want *for* breakfast?**

B : **Get *me* a *drink*. That'll be enough.**

例文 1

① **Get a taxi *for* me, please.**

② **I'll *come* and *get* you.**

「取って来る」など，入手，取得

▶ 適当な語を補って，英訳を完成させよう。

会話①

A：彼は1週間にいくら稼いでいると思いますか？

⇒ **How much do you think he [] a week?**

B：たぶん600ドルかな。

⇒ **Maybe he [] 600 dollars a week.**

会話②

A：おいしいパンが買えるところが私の町にはない。

⇒ **There's no place in my town you can [] [] bread.**

B：それは気の毒。私は近くで買っています。

⇒ **That's too bad. I get it [] my place.**

A：その店の場所を教えてください。

⇒ **Tell me where the bakery [].**

例文 2

① 今日の新聞を取ってきてあげよう。

⇒ **I'll [] and get today's paper for you.**

② 店へ行って，牛乳を買って来てくれませんか？

⇒ **Will you go down to the store and [] [] some milk?**

③ 古い切手を売って、いくらになりましたか？

❖ **How much did you [] [] your old stamps?**

④ 1,000 ドル以下ではちゃんとしたパソコンは買えない。

❖ **You can't get a decent PC [] [] \$1,000.**

⑤ 電話に出てくれない？料理で忙しいから。

❖ **Can you [] the [] for me? I'm busy cooking.**

解 答

会話①

A : How much do you think he *gets* a week?

B : Maybe he *gets* 600 dollars a week.

会話②

A : There's no place in my town you can *get* good bread.

B : That's too bad. I get it *near* my place.

A : Tell me where the bakery *is*.

例文 2

① I'll *go* and get today's paper for you.

② Will you go down to the store and *get me* some milk?

③ How much did you *get for* your old stamps?

④ You can't get a decent PC *for under* \$1,000.

⑤ Can you *get the phone* for me? I'm busy cooking.

日本語でも「ゲットする」など、すっかりおなじみの取得を意味する **get** である。お店で「買う」は **take** (もらう) で、買ったものについて話す時には **get** (手に入れる) というふうに使分けける。つまりお店の人に対しては、

I'll take it. (それ下さい)

であり、そのことを誰かに話す時には、

I got it. (手に入れた)

である。「買う」とははっきり言う時には **buy** が使える。「購入する」は **purchase**。同じ意味だが文脈によって使い分けける。

この入手や取得を表す **get** は「手紙が来る」や「印象を受ける」でも使えるので、**have** と共通する面が多いといえる。

I got a letter from Mary yesterday. (昨日メアリーから手紙が来た)

I got an impression that he was ill (彼は病気だという印象を受けた)

というふうに。しかし、**have** に比べると **get** は状況の変化の方に表現の力点がある。